

第10回 都城市市民意識調査

ふれあいアンケート結果

市では、市民の意見を市政に反映させるため、6月に「都城市市民意識調査(ふれあいアンケート)」を実施しました。調査に協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

今回は、20歳から79歳までの約12万人の市民の中から無作為に選んだ4,000人を対象に、本市の住み心地や取り組み、みどりと景観、男女共同参画意識、都城志布志道路、行財政改革、市町村合併、人口減少対策、公共施設のあり方、市政に対する意見について調査を行いました。

回答者は1,340人(男性553人・41%、女性761人・57%、無回答26人・2%)で、回答率は34%でした。なお、詳細な結果は、市のホームページで紹介します。

◎問い合わせ 秘書広報課 ☎23-3174

◆年代

年代	回答者	比率
20代	73人	6%
30代	162人	12%
40代	177人	13%
50代	227人	17%
60代	399人	30%
70代	284人	21%
無回答	18人	1%
計	1,340人	100%

◆世帯構成

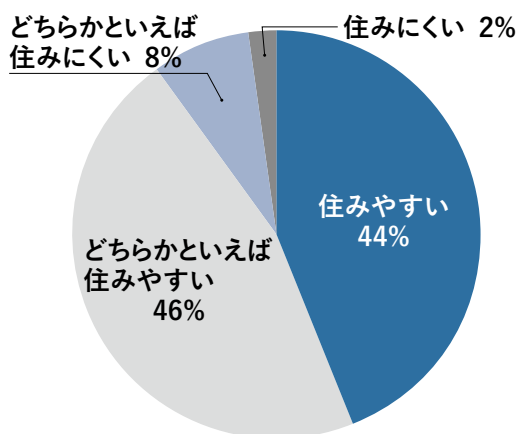
世帯	回答者	比率
単身	142人	11%
夫婦	567人	42%
二世帯	521人	39%
三世帯	66人	5%
その他	18人	1%
無回答	26人	2%
計	1,340人	100%

◆地区

地区	回答者	比率
姫城	89人	7%
小松原	63人	5%
妻ヶ丘	174人	13%
祝吉	148人	11%
五十市	126人	9%
横市	101人	8%
沖水	124人	9%
志和池	41人	3%
庄内	67人	5%
西岳	24人	2%
中郷	69人	5%
山之口	57人	4%
高城	77人	6%
山田	64人	5%
高崎	84人	6%
無回答	32人	2%
計	1,340人	100%

◎解説 本市の住み心地については、90割の人が「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と感じていて、前年度の調査より1ポイント高くなっていきます。

また、年代別みると「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」と感じている人は20代の95割が最も多く、逆にもっとも少ないのは50代の86割となっています。

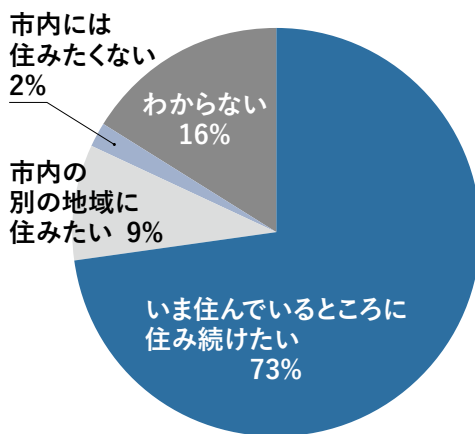


Q 都城市の住み心地をどのように感じていますか。

都城の住みやすさ

◎解説 回答者のうち、82割の人が「いま住んでいるところに住み続けたい」、「市内の別の地域に住み続けたい」と感じていて、前年度の調査より1ポイント高くなっていきます。

また、年代別みると「都城に住み続けたい」と感じている人は、70代の92割が最も多く、逆に、最も少ないのは20代の61割となっています。



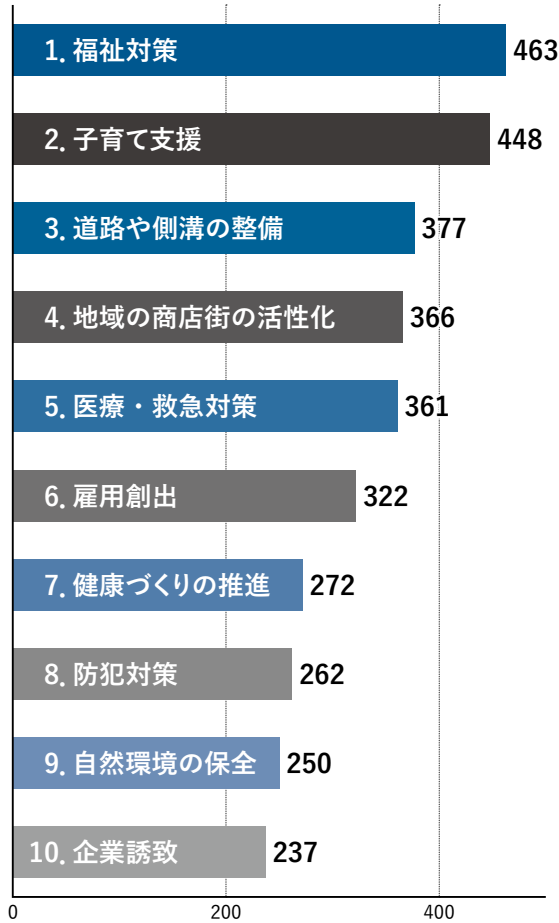
Q これからも都城市に住み続けたいですか。

ふれあいアンケート結果

本市の取り組み



市の取り組みについて、特に力をいれるべきだと思うものは何ですか。
(複数回答 上位10位)



◎解説

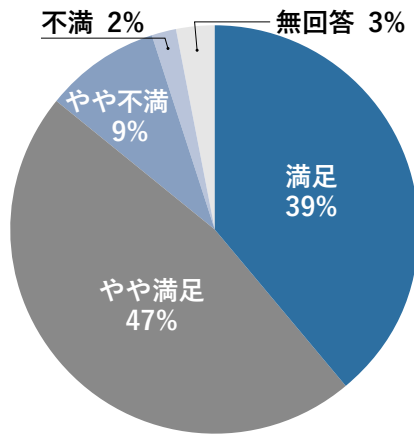
市の取り組みについて、特に力を入れるべき項目の1位は、「福祉対策」となっていて、「子育て支援」、「道路や側溝の整備」、「地域の商店街の活性化」、「医療・救急対策」の順になっています。年代別で見ると、20代・30代・40代で「子育て支援」、50代・60代・70代で「福祉対策」が1位となっています。

地区別で見ると、姫城・小松原で「地域の商店街の活性化」、妻ヶ丘・祝吉・西岳・山之口・高城・山田で「福祉対策」、五十市・横市・沖水・庄内・中郷で「子育て支援」、志和池・高崎で「道路や側溝の整備」が1位となっています。世帯別では、単身・夫婦で「福祉対策」、二世帯・三世帯で「子育て支援」が1位となっています。

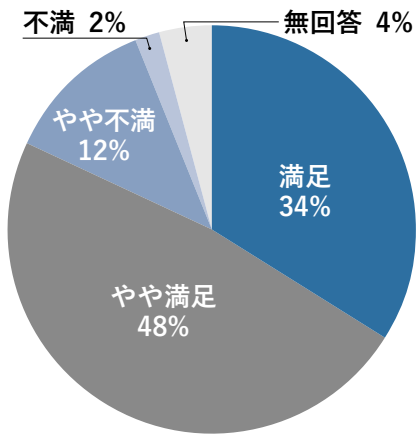
みどりと景観



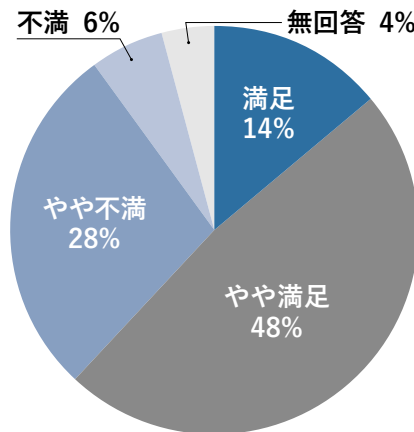
市内の樹林(緑)の多さに満足していますか。



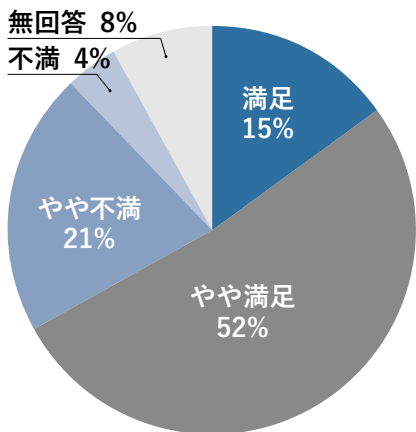
市内の田んぼや畑の風景の美しさに満足していますか。



都城市のまちなみの美しさに満足していますか。



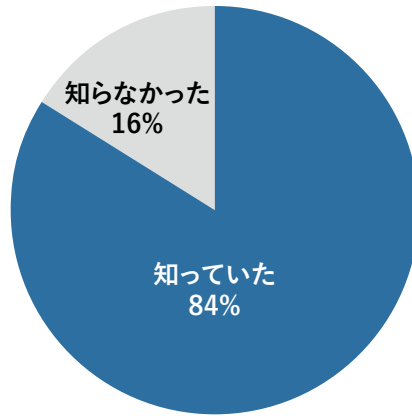
市内の文化遺産や文化財の歴史的雰囲気について満足していますか。



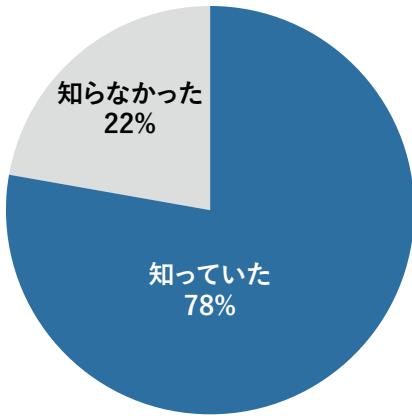
都城志布志道路



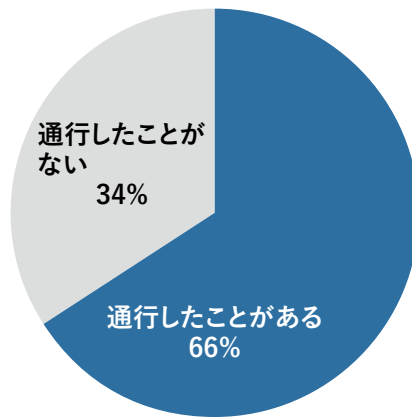
都城志布志道路の計画について知っていましたか。



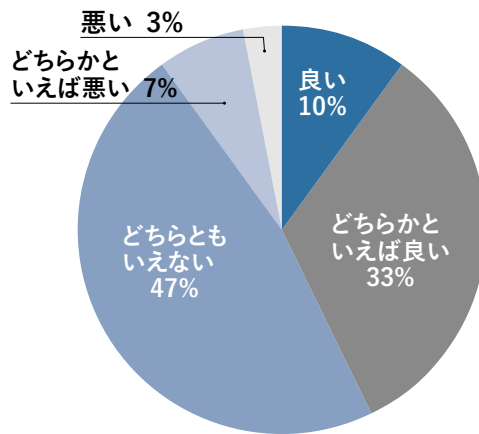
都城志布志道路は無料で行けることを知っていましたか。



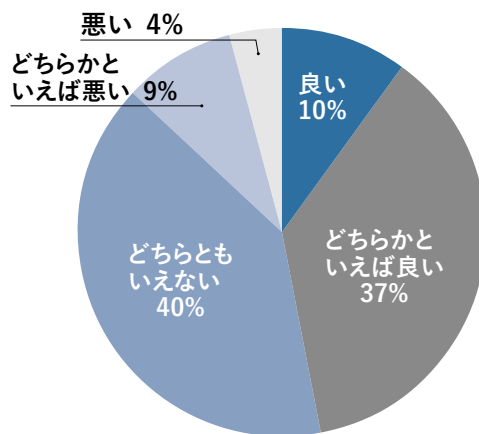
都城志布志道路の開通区間を通行したことがありますか。



地域ぐるみの子育て支援や相談体制について、どのように感じていますか。



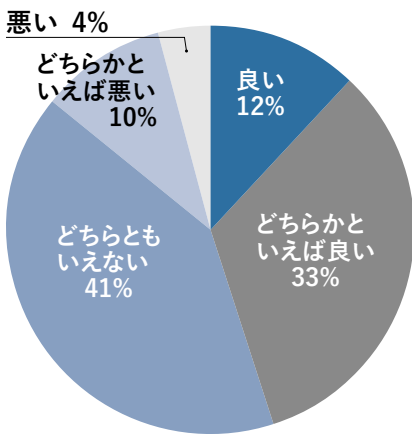
子どもの保育・教育環境の充実について、どのように感じていますか。



人口減少対策



小児医療体制の充実について、どのように感じていますか。



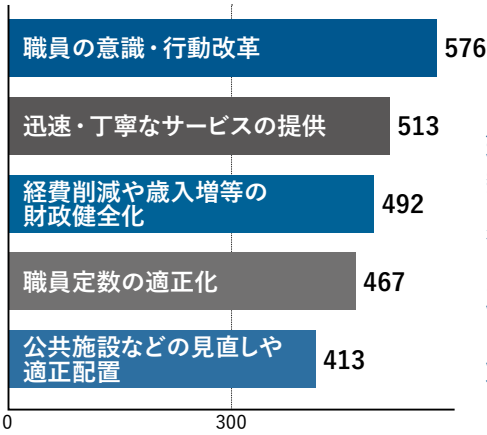
◎解説

全国的に人口減少問題が大きく取り上げられる中、人口減少防止対策の参考とするため、子育て環境に関する項目を中心に調査しました。本市の子育て環境としては、地域ぐるみの子育て支援や相談体制、小児医療体制の充実および子どもの保育・教育環境の充実について、約半数の人が「良い」と答えています。

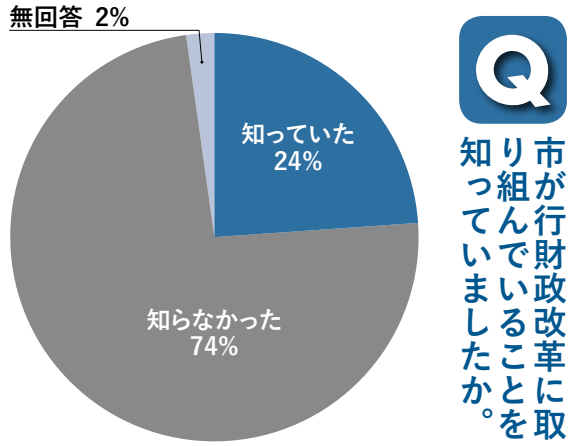
◎解説

地域高規格道路「都城志布志道路」の整備の必要性を広く啓発するとともに、早期全線開通に向けて取り組みの参考にするために調査しました。都城志布志道路の計画については、84%の人が「知っていた」と回答しました。そのうち、「都城志布志道路は無料で行けることを知っていた」は78%、「一部開通区間を通行したことがある」は66%となっています。

ふれあいアンケート結果



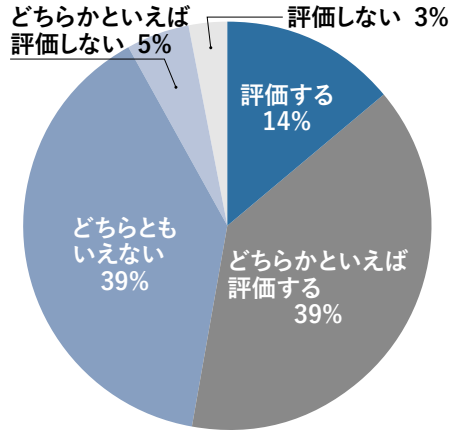
Q 新たな計画策定に当たり引き続き主要項目とすべきものは何ですか。(複数回答 上位5位)



Q 市が行財政改革に取り組んでいることを知っていましたか。

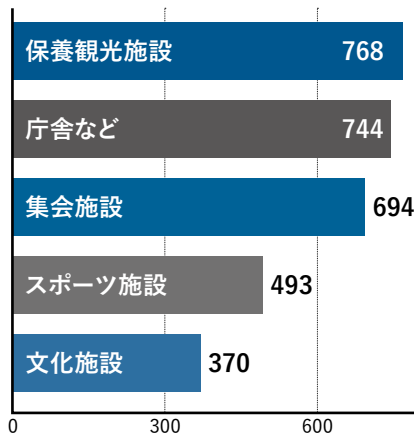
行財政改革

◎解説 本年度まで推進してきた行財政改革大綱およびその実施計画を評価し、新たな計画策定の参考にするため調査しました。行財政改革の推進については、24割の人が「知っていた」と回答しました。
新たな計画策定に当たり、引き続き主要項目とすべきものは「職員の意識・行動改革」が最も多くなっていました。また、これまで取り組んできた行財政改革について53割の人が「評価する」と回答しました。



Q これまでの取り組みを評価しますか。

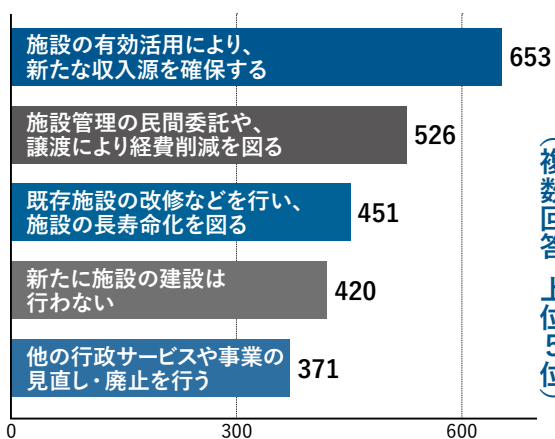
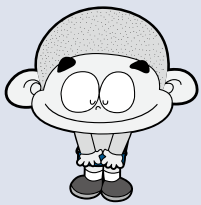
◎解説 高度経済成長期に整備された社会インフラや、公共施設の老朽化が全国的な社会問題となっています。今回、これからの施設のあり方を検討するため調査しました。
日常生活で利用する機会の多い公共施設は、「保養観光施設」が最も多くなっています。また、今後も公共施設を維持していくためには、「施設の有効活用により、新たな収入源を確保する」が最も多くなっていました。



Q 利用する機会が多いのは何ですか。(複数回答 上位5位)

公共施設のあり方

◎終わりに 今回、1,340人の市民の皆さんに、市の取り組みなどについて、アンケートに答えてもらいました。市では「笑顔あふれるまち スマイルシティ都城」の実現に向けて、調査の結果や寄せられたご意見を、市政運営に役立てていきます。



Q 施設を維持していくためにどうすべきですか。(複数回答 上位5位)

日韓近代美術家のまなざし 「朝鮮」で描く

日韓国交正常化50周年となる今年、神奈川県や新潟県、北海道など巡回する特別展を、本市でも開催します。20世紀前半における日本と韓国の美術、そして美術家同士の交流に焦点を当てます。

◎問い合わせ 美術館 ☎25-1447

日本と韓国の近代美術家たち

多くの矛盾に満ちた「近代」という時代、日韓両国の美術家たちは、社会的な限界を越えようとするまなざしを持ち、芸術的な表現力で個々の世界観を深めていきました。

本展では、日韓の美術家たちが、東洋画や洋画、彫刻、工芸など幅広い分野で、20世紀前半の朝鮮半島をどのような空間としてとらえ、表現したかに焦点を当てて紹介します。



高義東「程子冠をかぶる自画像」
(東京藝術大学蔵)

展示のみどころ

近代人の日常

旅行者として韓国を訪れた日本人美術家の多くは、川辺での洗濯や伝統衣装を着た人々にぎわう市場など、日常生活の中の伝統的な側面を魅力的なモチーフとして表現しています。

一方で、韓国の美術家たちは、近代建築が建ち並ぶ都市の風景や洋装の人物など、近代化の進む日常を生きたきと描いています。



李仁星「黄色いワンピースの婦人像」
(個人蔵)

近代「朝鮮」の風景

古来の聖地であり、近代には一大観光地となった金剛山などは、日韓の美術家が共に描いています。同じ対象でも表現の違いを感じることが出来ます。



山内多門「金剛山」

本市ゆかりの美術家たち

この時代、本市の名誉市民でもある山田新一は朝鮮美術展覧会で活躍し、小牧正美も京城師範学校を出て教職に就いていました。山内多門や益田玉城は旅行者として朝鮮の風景を描き、「金剛山」や「笛の音」は市立美術館収蔵品の目玉にもなっています。

これら本市ゆかりの作品の中で、複雑な時代の文化が、どのように表現されているかも、今回の特別展の見所の一つです。



益田玉城「笛の音」

●会期 10月23日(金)～12月6日(日)
9時～17時(入館は16時30分まで)

●場所 都城市立美術館

●入館料 一般800円(600円)、
高校・大学生600円(400円)、
中学生以下は無料

※(一)内は前売り、20人以上の団体、65歳以上、障がいのある人の割引料
金。都城島津伝承館と都城歴史資料館で開催している特別展や企画展の入場券の半券を提示した人は割引料金で観覧可

※11月3日(火)(文化の日)は無料。11月15日(日)(家庭の日)は高校生以下同伴の保護者は無料

関連事業

●定員 各30人

【映画ロビー上映】

「道と白磁の人々」

●日時 10月30日(金)、11月13日(金)・
20日(金) 18時～

「ふたつの祖国、ひとつの愛イ・ジュ
ソップの妻」

●日時 11月6日(金) 18時～

※特別展チケットまたは半券持参で
無料。当日整理券を配布します

【美術鑑賞講座】

●日時 11月15日(日) 14時～

●定員 20人程度

【学芸員によるギャラリーツアー】

●日時 10月24日(土)、11月14日(土)
13時30分～

かけがえのない体験をしよう

ジュニア・リーダー

中学生や高校生自らがさまざまな催しを企画・運営したり、子ども会活動などをサポートしたりするジュニア・リーダー。イベントなどを通して地域を盛り上げています。さまざまな体験ができるジュニア・リーダーの活動に参加してみませんか。

◎問い合わせ 生涯学習課 ☎23-9545

ジュニア・リーダーって何？

ジュニア・リーダーは、地域の子ども会で良き相談相手や話し相手となって、一緒に活動の計画を立てたり、レクリエーションの実技指導をしたりします。

本市にはジュニア・リーダークラブ蒲公英かんぼへいがあり、現在16人のメンバーが子ども会活動に参加する小・中学生をサポートしています。



子ども会活動をサポート

ジュニア・リーダーの役割

子ども会活動のサポート

それぞれの地域で活動する子ども会の「十五夜まつり」や「クリスマス会」などの行事を、子どもたちと一緒に計画し、活動をサポートします。

学校の活動をサポート

各学校で実施される学年・学級レクリエーションやキャンプなどに、子どもたちが楽しく参加できるようにサポートします。

子どもフェスティバルをサポート

子どもフェスティバルの計画や準備などに関わり、実行委員の子どもたちがやりたいことをイメージしやすいようにアドバイ斯拉たり、それぞれのグループをまとめたりします。

みんなで楽しく学ぼう ジュニア・リーダー教室

市では、講座やキャンプなどの活動を通して、ジュニア・リーダーとしての心得を学ぶ教室を開催しています。

- 日時 11月～平成28年3月
- ※月に2回程度、土曜日に開催
- 場所 中央公民館ほか
- 対象 市内の小学6年生～中学生3年生



メンバー間の交流を深めるキャンプ

アイデアいっぱい 子どもフェスティバル

市内の小学5・6年生が子ども実行委員となって企画する子どもフェスティバル。毎年、さまざまな催しでにぎわいます。

- 日時 10月18日(日) 10時～15時
- 場所 コミュニティセンター周辺
- 主な内容 子どもたちがおぼけ役になる本格的な「お化け屋敷」、景品流しなどのミニゲームコーナー、アクセサリーなどを作る手作り体験コーナーなど



子どもフェスティバル

インタビュー 森木翔也さん



いろいろな人と関わることに興味があり、昨年からジュニア・リーダーとして活動しています。

同世代の人たちのさまざまな意見を聞いたり、自分の考えを相手に伝えたりしながらイベントの企画などを行います。この活動を通じて培ったコミュニケーション能力は、普段の生活でも役立っています。

みんなで協力して一つのものを作り上げる達成感が得られ、自分を変えるチャンスにもなります。ぜひ、参加してみてください。

第10回

都城市環境まつり

●日時 10月24日(土) 10時～16時 ※雨天決行
 ●場所 都城市リサイクルプラザ「さいせい館」(下水流町)
 環境にちなんだ展示や体験コーナー、リサイクル品の抽選販売など、多彩なイベントを開催。家族そろって来場ください。
 ◎問い合わせ・申し込み 環境政策課 ☎23-2130

楽しく学んで 資源を有効に活用しよう!

ソーラーバツタ

親子製作教室

小学生の親子30組

●時間 13時～15時

●参加費 500円

※事前申し込みが必要(当日の製作は申し込み順)

磁石をデコっちゃおう! (無料)

冷蔵庫をリサイクルする時に取り出した磁石を使った装飾体験。

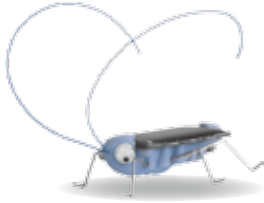
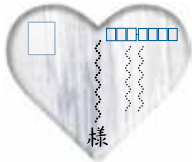
オリジナルペーパースコップを作ろう (無料)

牛乳パックを使って、犬の散歩に携行できるペーパースコップを作ります。

廃材ではがきをつくらう

手作りの木製はがきで、大切な人に手紙を送ってみませんか。

●参加費 150円



配布・交換・回収

いずれも数に限りがあります。
 ●緑化木や手作り堆肥の無料配布
 ●500ミリペットボトルに入れた廃食油を野菜や花の苗と交換
 ●指定ごみ袋大1袋分のつぶしたアルミ缶をドレスタオルと交換
 ●霧島酒造の焼酎パック5枚をトイレットペーパー1個と交換
 ※一世帯20個まで

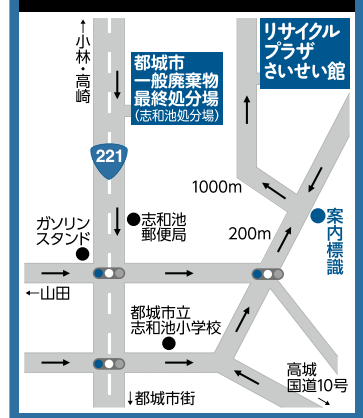
楽しく遊ぼう

巨大段ボール迷路

5歳四方の段ボールを組み合わせた巨大迷路が出現。難コースに楽しくチャレンジしてみよう。



会場案内図



展示・その他のコーナー

井戸水の硝酸態窒素の無料検査

500ミリ以下のペットボトルに井戸水を入れて持参ください。
 ※先着100人

発電体験コーナー

電力会社の実施する、エネルギー変換実験器を使った発電を体験できます。

おもちゃの病院

壊れたおもちゃを無料で修理します。ただし、材料費が必要な場合があります。当日修理できないものは、後日引き渡します。

リサイクル古本市

古本を一冊10円で販売します。

飲食店コーナー

手作りそばや肉巻きおにぎり、ケーキなど、飲食店も多数出店します。



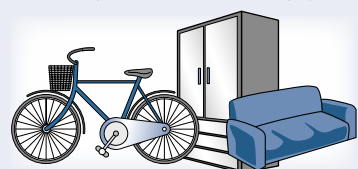
リサイクル品の抽選販売

家庭で不用になった家具や自転車を再生して、希望者に抽選販売します。

販売品目

家具 類全般、自転車(子ども用含む)、生活雑貨

※詳しくは市ホームページに掲載



※販売品の配達はできません

●応募資格 都城市または、三股町在住の18歳以上の人

●応募方法 応募用紙に必要事項を記入し、さいせい館事務所の応募箱へ投函ください

※電話、ファクスでの申し込みはできません。家具、自転車は一人当たり各1点のみ応募可(重複無効)

●応募期間 10月11日(日)～10月24日(土)(環境まつり当日) 12時まで

※10月13日(火)・18日(日)・20日(火)はさいせい館が休館

●抽選方法 10月24日(土)14時頃から環境まつり会場で抽選発表

※発表時に会場にいない場合は、当選無効。応募半券があれば代理でも可

●問い合わせ

さいせい館 ☎36-3900

36-3900

みやこんじよ弁ラジオ体操第1 笑顔と健康を届ける体操の 誕生秘話



都城地域の方言で語り、誰もが笑顔で健康になれるみやこんじよ弁ラジオ体操第1。今回は、みやこんじよ弁ラジオ体操第1誕生のエピソードを紹介します。

◎問い合わせ 総合政策課 ☎23-2115

「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」に込める市長の思いを聞きました

東日本大震災発生後、被災地の仮設住宅では、毎朝、被災者とボランティアの人たちがラジオ体操を行っていました。そこでは、ラジオ体操には集まるけれど、震災の影響で元気も笑顔もなく、体操をしているといった状況でした。

そのことを心配した地域の男性が、一人でも多くの人を和ませ、笑顔と元気を届けたいという思いから、体操の掛け声を、地域の方言に替えたラジオ体操を製作したそうです。ある朝、その方言ラジオ体操を流したところ、それまで元気のなかった人たちが、慣れ親しんだ方言の明るい掛け声で、笑顔になって元気を取り戻したそうです。その後、方言ラジオ体操は、地域全体に広がり、

「笑顔と元気の輪が大きくなった」という話を聞きました。そこで、私は「みやこんじよ弁」でラジオ体操を作ったら「市民の皆さんが笑顔になってくれるのではないか」との思いから、今回、製作を指示しました。



産声をあげた「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」。慣れ親しんだ方言で、きつと笑顔になれます。併せて、ラジオ体操の効果で健康づくりにも繋げていただきたいと思います。

産声をあげた「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」

都城地域の方言に詳しい市民6人で構成する検討委員会を設立し、作詞。世代を超えて笑顔になることができるラジオ体操が誕生しました。



併せて、みやこんじよ弁が字幕が入った動画も製作。多くの市民の皆さんに出演してもらったこと、本市の元気を全国に発信することができました。※動画は、インターネットで見ることができません

広がる

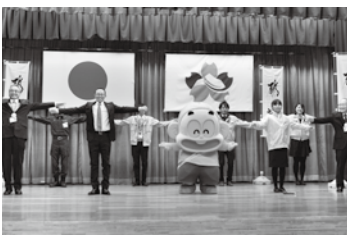
「みやこんじよ弁ラジオ体操第1」

音源(CD) 1月5日の仕事始め式で、体操を初披露。

その後、市内の小中学校や保育園、幼稚園、各種団体などをはじめ、市内外の皆さんにもCDを配布。さまざまな行事や大会などで利用されています(9月15日現在の配布枚数約7,000枚)。

動画

1月20日、動画投稿サイトYouTubeやフェイスブックを通して発



信。再生回数は、9月15日現在で約8万5,000回となりました。また動画を収めたDVDを製作し、体育指導員やみやこんじよ健康づくり会に配布して、イベントや、スポーツを始める前の準備運動に役立ててもらっています。

市民の皆さんから寄せられたご意見やご要望

「毎朝、職場でラジオ体操をしているので使いたい」、「スポーツ教室で利用しているが、はじめて聞いたときは笑ってしまった」、「よく耳にする都城弁が、笑顔を誘い、心を元気にしてくれる」、「よく分からないけれど、「面白い」などのうれしい意見が寄せられています。

また、市外や県外在住の本市出身の人たちなどから、CDを送ってほしいといった要望も数多く寄せられています。

活用ください

総合政策課(本庁4階)、各総合支所地域振興課、各地区市民センターで、CDを無料配布しています。

※市ホームページから音源をダウンロードできます。また、動画DVDの貸し出しも行っていますので、総合政策課まで問い合わせください